

9

とくしよく
特色ある地いきの人々の生活

① 舟屋 (重要伝統的建造物群)

	漁船の数(せき)	漁かく高 (t)
まいづる 舞鶴市	576	2422
みやづ 宮津市	414	2029
伊根町	240	2416
きょうたんご 京丹後市	546	1685

② 各市町の漁船の数と漁かく高

[2019年12月31日現在、京都府漁業協同組合]

1

きょうとふ
京都府の特色ある
地いき

調べる

漁業のさかな伊根町の人々の生活について調べてみましょう。

京都府全体の組合員数

1852人

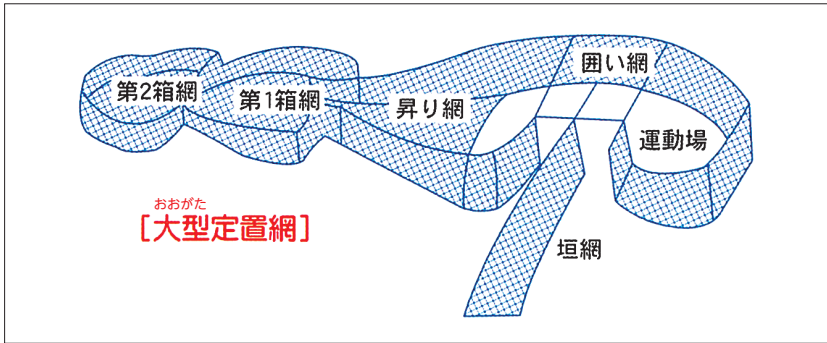
[2020年3月31日現在、京都府漁業協同組合]

ぎよぎょう
漁業のさかな
いね
伊根町

伊根町は、漁業のまちです。

海岸は切り立ったがけが多く、平地はほとんどありません。まちの人々は海岸にそった土地を利用してくらしています。

まちは港を取りかこむようにしてあり、「舟屋」とよばれる独特の家が続いています。1階は船を入れるところで、2階は住むこともできます。これは、先人が知恵を出してつくり出した建物です。



④定置網漁業 えんがん 沿岸の魚の通り道に網を^{せっち}設置・^{こてい}固定しておいて、魚を網の中にさそいこんでとります。



どんなふうにして魚をとるのか調べてみたよ。

仕事の様子

伊根町では、^{てい}定置網^{あみ}を使って魚をとる「定置網漁業」が行われています。ぶりのほかにあじ、いわし、いかなどをたくさんとっています。^{よう}養しよくもさかんです。



きっと朝が早い生活なんだろうね。手紙を出してたずねてみよう。



^{きやうどう}漁業協同組合の人の話

^{さいきん}最近^{りやう}は、魚の量がへってきているので、「育てる漁業」にも力を入れています。たいの稚魚^{ちぎよ}やあわび、さざえの稚貝^{ちがい}を放流したり、原木をコンクリートにつけてしずめ、魚をふやすためのすみかをつくったりしています。

また、へしこ、にぼし、みりんぼしなどの加工^{かこう}製品^{せいひん}をつくって売り出すなど、地いきぐるみで漁業に力を入れています。



いろんなことが考えられているんだね。



④一夜ぼし



📍北山杉



📍みがき丸太

調べる

丹波高地の林業の様子を調べてみましょう。

山の仕事ってどんなことをしているのかな。

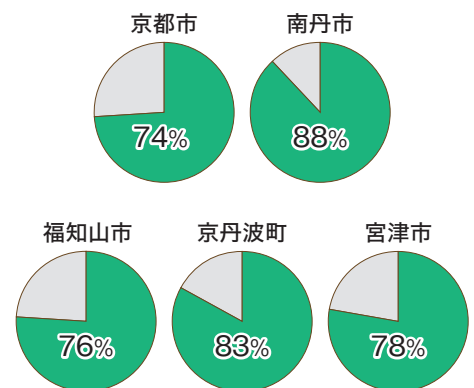


林業のさかんな丹波高地

京都府の真ん中には「京都の屋根」と言われる丹波高地があります。

気候は雨が多くて木の生長によく、昔からすぐれた木材を育ててきました。特に「みがき丸太」で有名な北山杉も生産されています。

主な地いき	森林面積	土地の広さ	森林のしめる割合
京都市	6万 989ha	8万 2783ha	74%
南丹市	5万 4185ha	6万 1640ha	88%
福知山市	4万 2067ha	5万 5254ha	76%
京丹波町	2万 5041ha	3万 309ha	83%
宮津市	1万 3515ha	1万 7274ha	78%



📍京都府の主な地いきの森林面積 京都府の森林の広さは 34万 2577ha で日本で 27 番目です。 [2019年、京都府ホームページ]

📍森林のしめる割合

仕事の様子



「山の仕事をしている人に話を聞いてみました。」



山の仕事をしている人の話

すぎやひのきのなえ木を植えたり、枝打ちや下草をかたりしてあります。春には、冬の間の雪でたおれた木のなえを起こす作業も行います。

チェーンソーという機械きかいを使うようになって、ずいぶん楽になりました。でも、長い時間使用すると、体によくないので、注意しなければいけません。

山の仕事はたいへんな作業も多いけれど、何年もかけた木がまっすぐ大きく育っていくすがたを見ると、やりがいを感じます。

今は安い外国の木材が入ってくるようになり、山の仕事だけではくらしにくくなりました。そこで、山でとれた山菜さんさいを加工かこうしたり、高冷地の特産こうれいちょうを生かした野菜づくりやさいのくふうをしたりしています。

また、林道を整備してハイキングや山歩きを楽しんでもらうなど、自然体験しぜんたいけんにも力を入れています。



山で働く人の様子

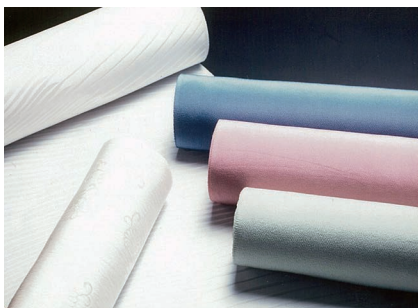
2

のこ
残したいもの
った
伝えたいもの

きれいな着物を
わたしも着てみた
いな。



👉ちりめんの反物



👉ちりめん



👉ちりめんの小物

たんご 丹後ちりめん

わたしたちの地方には、古くから伝わって
きた技術ぎじゆつを使って、日本独自の伝統美どくじ でんとうびをきず
いてきた丹後ちりめんがあります。丹後ちり
めんは、その地方の気候きこう、風土をうまく生か
してつぐられ、地場産業じばさんぎやうとして今も大切に受
けつがれています。丹後ちりめんについて調
べてみましょう。

ちりめんはどの
ようにつくられる
のかな。



ちりめんをつく
るのに、どうして
この地方の気候が
よいのだろう。



な 奈良時代	あしぎぬという絹織物を奈良の朝廷 <small>ちやうてい</small> にみつぎ物として持って いきました。その織物は今でも正倉院 <small>しょうそういん</small> にあります。
え 江戸時代	京都 <small>きょうと</small> の西陣 <small>にしじん</small> から技術を学び、さらさらの絹の感しよくが最高 <small>さいこう</small> に発揮できる「しぼ」の技法があみ出され、ここから丹後ちり めんがスタートしました。
しょうわ 昭和時代	ちりめんがよく売れて、たくさん生産されました。多いとき は、1年に約1000万反 <small>やく</small> も生産されました。
げんざい 現在	着物を着る人がへり、ちりめん生産が少なくなりました。新 しい製品の開発がさかんになりました。

しぼ よりの強い糸でおられた
ちりめんを、高温の湯にひたす
ことで糸がちぢんでできるもの
をいう。

反 大人の着物が1まいつけれ
るぬのの大きさ。

丹後ちりめんのれきし



新しい製品を開発する人の話

今では白生地しろきじの生産が年に31
万反たんあまりになってしまいま
した。そこで、軽くてやわらかな織
物ものである丹後ちりめんを日常で
使っていけるちりめんにちじようにしようと考え、素材を絹
からレーヨン、ポリエステルへと広げ、丹後ポリ
エステルちりめんへとってはさせました。

これまでの伝統と技法ぎほうを生かしながらもお客様
に気に入ってもらえる商品しょうひんの開発つとに努め、今で
は、手さげバッグ、ふろしき、けいたいストラッ
プなどの小物雑貨ざっかを、デザインから染色せんしよく、仕上げ
まで手がけて、全国のデパートにおろしていま
す。インターネットによるはん売もしています。

高級イメージの丹後ちり
めんを日常できに使えるよう
にくふうしているんだね。



小物にはほかにど
んなものがあるのか
調べてみよう。

